

イラク戦争のような大義なき戦争にも自衛隊の参戦、国民の強制動員に道を開く

米軍の戦争支援のための有事法案反対



イラクの少女。無法な戦争で国土は破壊されたが、少女の表情は明るい未来を見ているようだ。イラクに必要なのは、武装した自衛隊でなく、占領終結と国連中心の復興支援だ（写真は大阪・西谷文和さん撮影 03.11）

国民統制法案は、国民の家屋や土地を取り上げる、それに従わなければ刑罰を科すとしています。国民「保護」でなく、国民の自由と権利を奪い、国民を戦争協力に動員し、統制する悪法です。

家屋、土地も取り上げ！

昨年、武力攻撃事態法案などが国会で成立しました。この具体化をはかり、いっそう米軍支援の体制を確立しようというのが、今回の法案です。

政府は、「日本が攻められたときの備え」などと宣伝していますが、違います。イラク侵略戦争のような米軍がおこす海外での先制戦争にも、自衛隊を参戦させ、国民も自治体も総動員しようというのです。政府も、日本への攻撃がない「周

辺事態」など海外での戦争に自衛隊が参加する可能性を認めています。

法案の内容は、米軍に武器・弾薬を提供できるようにし、さらに日本の港湾、空港、道路、電波を米軍に自由勝手に使用させることになっています。

米軍は国民の土地を取り上げ、使用することもできます。また公海で外国の民間船を威嚇して、臨検することも可能になります。

スペイン軍はイラクから撤退へ

スペインの次期首相・サパテロ氏は「イラク戦争は間違っている。スペイン軍は撤退する」と表明しました。

政府・与党は、「米軍支援法案」や「国民統制（保護）法案」など「有事関連法案」を今国会で成立させようとしています。これらは、日本国民を守る法案でなく、イラク戦争のようなアメリカの無法な戦争であっても、自衛隊を参戦させ、国民を罰則つきで戦争協力させる、とんでもない法案です。国民の声で、憲法じゅりんの戦争法案をストップさせましょう。

とんでもない！ 港湾、空港、道路、電波も 米軍が自由勝手に使用